

●がん患者等への支援（がん患者等支援部会）

①相談支援及び情報提供

<p>目指す姿</p>	<p>○全てのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を手に入れることができ、その悩みや疑問が軽減している。</p> <p>○がん患者やその家族が活用しやすい相談支援体制の整備が進んでいる。</p>
<p>開催日</p>	<p>平成29年6月20日（月）</p>
<p>議論内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年度の取組について <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センター等のがん相談・がん患者サロンの状況 ・小児がんを抱える児童等の実態調査（概要） 2. 第3期奈良県がん対策推進計画について （「相談支援及び情報提供」「がん患者の就労を含めた社会的な問題」共通） <ul style="list-style-type: none"> ・骨子（案）、全体目標について ・分野別施策について
<p>平成29年度 取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. がん患者・家族への相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC） ・拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施（2回） 2. がん患者・家族への情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センター啓発用リーフレットの増刷（10,000部） ・「がんネットなら」の情報更新：就労相談窓口、周術期の口腔ケア等の追加 ・「がんネットなら」の啓発用チラシの作成（10,000部） ・イベント（リフォーライ7奈良）会場での情報発信 3. がん診療連携協議会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援従事者研修の継続 ・がん相談支援センター利用状況調査、相談支援の評価方法の検討、がん相談支援センターの啓発、相談体制のあり方について検討 ・地域相談支援フォーラムin近畿の開催（H30.2予定）

②がん患者の就労を含めた社会的な問題

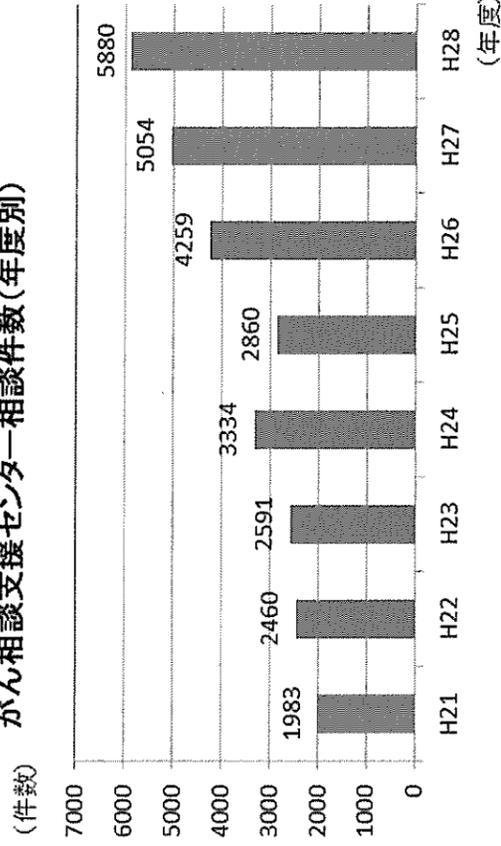
<p>目指す姿</p>	<p>○がん患者とその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。</p> <p>○事業者において、がんやがん患者に対する理解が進んでいる。</p>
<p>開催日</p>	<p>平成29年6月20日（月）</p>
<p>議論内容</p>	<p>1. 平成29年度の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院等における就労・就職支援の状況について（P5） ・「社会保険労務士による就労相談支援」についてのアンケートまとめ（P6） <p>2. 第3期奈良県がん対策推進計画について （「相談支援及び情報提供」「がん患者の就労を含めた社会的な問題」共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨子（案）、全体目標について ・分野別施策について
<p>平成29年度 取組</p>	<p>1. がん患者への就労相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労相談関係者情報交換会の開催（1回） 先進事例の紹介、現状・課題について情報共有 ・就労支援関係者に対する研修会の開催（1回）：全国健康保険協会奈良支部との連携 ・がんネットなら、なら労働時報による情報提供 <p>2. がん診療連携協議会の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全拠点病院での社会保険労務士による就労相談の実施 ・院内職員に対する研修会の実施 ・国との連携によるハローワーク相談員の就職相談の実施（医大） <p>3. 国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良労働局による長期療養者就職支援事業について ・奈良産業保健総合支援センターによる治療と職業生活両立支援について

■がん相談支援センター等のがん相談・がん患者サロンの状況

(1) がん相談支援センター相談件数

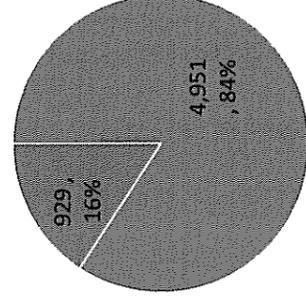
	(H28年度)			
	電話	面接	その他	計
奈良県立医科大学附属病院	186	418	1	605
奈良県総合医療センター	265	639	8	912
天理よろづ相談所病院	217	244	7	468
近畿大学医学部奈良病院	541	1,045	0	1,586
市立奈良病院	410	557	3	970
南奈良総合医療センター	3	102	0	105
国保中央病院	220	268	6	494
済生会中和病院	60	337	0	397
大和高田市立病院	122	221	0	343
計	2,024	3,831	25	5,880

がん相談支援センター相談件数(年度別)



	自施設患者・家族			その他患者・家族等			計
	なごみ	くろぎ	いこい	生駒	春日野	春日野	
奈良県立医科大学附属病院	466	139	605	139	141	912	605
奈良県総合医療センター	771	405	63	63	64	1,586	468
天理よろづ相談所病院	1,522	924	46	46	3	105	1,586
近畿大学医学部奈良病院	102	62	432	432	12	397	970
市立奈良病院	385	314	29	29	0	343	105
南奈良総合医療センター	62	385	12	12	0	494	970
国保中央病院	314	4,951	929	929	25	5,880	494
済生会中和病院	46	184	6	105	12	397	343
大和高田市立病院	46	184	6	105	12	397	343
計	4,951	929	5,880	929	25	5,880	5,880

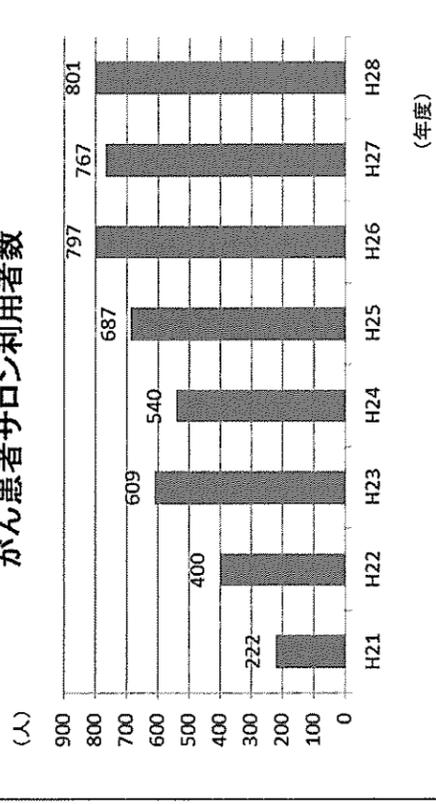
相談件数(自施設・他施設別)(H28年度)



(2) がん患者サロン利用者数

	奈良医科大学附属病院		奈良県総合医療センター		天理よろづ相談所病院		近大奈良病院		市立奈良病院		南奈良総合医療センター		国保中央病院		済生会中和病院		大和高田市立病院		吉野保健所			
	なごみ		くろぎ		いこい		生駒		春日野		ひととき		飛鳥		Chuwu		ひだまり		すずらん		よしの	
	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数
4月	8	24	2	12	2	8	4	11	4	9	0	3	0	3	2	3	1	6	0	3	1	6
5月	2	12	2	13	1	6	4	11	2	6	1	5	0	2	0	2	0	7	0	5	0	7
6月	1	13	0	8	0	6	6	12	2	8	0	5	0	1	1	6	1	6	0	5	0	6
7月	1	11	0	11	0	7	0	8	2	9	0	4	0	2	0	4	0	4	5	14	5	14
8月	4	14	0	8	1	8	4	12	2	7	1	5	0	1	3	8	3	8	0	8	3	8
9月	2	13	2	8	2	8	3	13	6	12	0	2	0	2	1	6	1	6	0	2	1	6
10月	7	21	1	10	1	5	0	6	0	6	0	4	1	2	0	4	1	2	0	4	1	2
11月	3	12	1	10	1	4	0	5	0	9	1	4	0	2	0	4	0	4	0	4	3	4
12月	5	23	0	9	3	10	4	9	2	9	3	7	1	1	0	6	1	6	0	6	3	7
1月	4	11	0	8	1	9	0	8	2	10	1	6	0	1	0	3	12	3	12	0	3	12
2月	4	15	0	9	0	10	6	15	6	15	0	6	2	3	2	7	0	7	0	6	2	7
3月	5	15	0	7	0	4	1	5	1	11	2	0	4	0	1	4	0	4	0	4	0	4
合計	46	184	6	105	12	85	26	100	29	111	2	2	7	55	6	21	8	58	8	26	6	13

がん患者サロン利用者数



交流会	講談会	
	新規	総数
合計	161	786

生駒：2月インフルエンザで中止
 ひととき：3月から実施
 すずらん：7月 講演会・交流会実施 上段：交流会参加者数、下段○：講演会参加者数
 とまと：8月 講演会・交流会実施 上段：交流会参加者数、下段○：講演会参加者数
 よしの：9月・12月 講演会・交流会実施 上段：交流会参加者数、下段○：講演会参加者数

■がん診療連携拠点病院における就労・就職支援の状況について

◆平成28年度 就労・就職支援の実績について

★就労支援について

●就労相談・研修会の実施状況

	社会保険労務士による相談		社会保険労務士等による研修		
	回数	実施日	回数	実施日	内容
奈良県立医科大学附属病院	12回	毎月第4水曜日又は木曜日 13:00～16:00	1回	9月7日 17:45～19:00	がんと就労研修会(社労士の役割、長期療養者の就職支援について)
奈良県総合医療センター	3回	7月22日、10月28日、1月27日(第4金曜日) 13:00～16:00	—	—	—
天理よろづ相談所病院	5回	6月15日、9月14日、12月6日、1月12日、 3月15日 13:00～16:00(1/12のみ14:00～16:00)	—	—	—
近畿大学医学部奈良病院	5回	6月23日、8月25日、10月27日、12月22日、 2月23日(第4木曜日) 13:00～16:00	—	—	—
市立奈良病院	2回	9月13日、3月11日(第2火曜日、土曜日) 13:00～16:00/9:00～12:00	—	—	—
計		27回		1回	

●相談回数及び相談件数

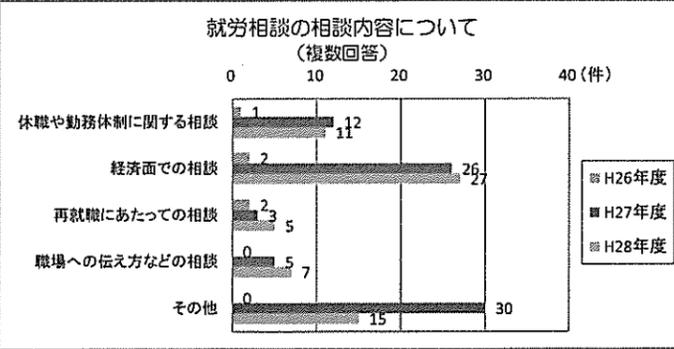
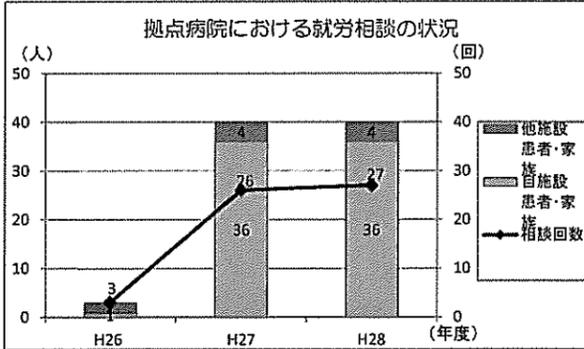
	相談回数	社労士相談の件数(実件数)	
		自施設 患者・家族	他施設 患者・家族
奈良県立医科大学附属病院	12	16	1
奈良県総合医療センター	3	4	1
天理よろづ相談所病院	5	3	0
近畿大学医学部奈良病院	5	10	0
市立奈良病院	2	3	2
計	27	36	4

●社会保険労務士による相談の内容

	相談者内訳(延件数)		計
	自施設 患者・家族	他施設 患者・家族	
・休職や勤務体制に関する相談	8	3	11
・経済面での相談	24	3	27
・再就職にあたっての相談	4	1	5
・職場への伝え方などの相談	4	3	7
・その他(退職後の健康保険、傷病手当、障害年金の手続き、制度の活用方法等)	15	0	15
計	54	10	64

●就労相談の周知方法

奈良県立医科大学附属病院	・ポスター ・当日の院内放送
奈良県総合医療センター	・院内およびがん拠点病院へのチラシ配布
天理よろづ相談所病院	・ホームページに就労相談サイト、がん相談支援センターのリーフレットに掲載。 ・院内掲示及び外来診療棟の液晶掲示板でも案内をしている。
近畿大学医学部奈良病院	・紙媒体で案内を作成し、院内の外来カウンターやがん相談支援センター前リーフレット立てに設置。 ・奈良県内のがん診療連携拠点病院・支援病院へ郵送 ・当院ホームページに掲載
市立奈良病院	・院内掲示と各拠点病院にポスター郵送。



★就職支援について

	ハローワーク大和高田による就職相談			
	回数	実施日	延べ相談数	内容
奈良県立医科大学附属病院	27回 (9月～)	毎週木曜日 13:30～16:30	30件	長期療養者(がん、肝炎、糖尿病)就職相談実施

◆平成29年度 就労・就職支援の計画について

★就労支援について

●就労相談、研修会の計画について

	社会保険労務士による相談		社会保険労務士等による研修		
	回数	実施予定日	回数	実施予定日	内容
奈良県立医科大学附属病院	12回	第4水曜日又は木曜日	1回	9月	未定
奈良県総合医療センター	3回	7月、10月、1月(第3金曜日)	—	—	—
天理よろづ相談所病院	4回	6月、9月、12月、3月	—	—	看護師研修の中で周知予定。
近畿大学医学部奈良病院	10回	毎月第4木曜日(8月、3月除く)	1回	夏頃	社労士を講師に、院内スタッフ対象の研修会を開催予定。
市立奈良病院	3回	9月、12月、3月	—	—	—
計		32回		2回	

★就職支援について

●就職相談の計画について

	ハローワーク大和高田による就職相談		
	回数	実施日	内容
奈良県立医科大学附属病院	46回	毎週1回(曜日は月～金曜日で設定) 開催時間:午前、午後で設定	長期療養者(がん、肝炎、糖尿病)就職相談実施

《参考》

●就労相談、就職相談窓口の周知用ポスター等

社会保険労務士による
就労相談

無料です

例えば、このようなことで悩んでいませんか?
 ・病後もしながら今の仕事を続けられるだろうか...
 ・入職して仕事を休むと収入がなくなってしまう...
 ・退職を勧められてしまった
 ・病後のことは職場に伝えるべきだろうか...
 ・もらえる年金って、どうなるのかな...

下記日程において「労働問題」や「社会保障」を専門とする(社労士等)の方による相談を実施いたします。ぜひ、お気軽にご来場ください。
 予約も受け付けておりますので、ご予約ください。

日 時 平成28年12月22日(木) 13:00～16:00
 (お一人50分・原則予約制)

場 所 近畿大学医学部奈良病院内 面談室

対 象 がんの患者さん、およびその家族

担当 社会保険労務士 尾木 真穂 氏
 ※がん相談支援センター相談員も同席します。

申込方法 ①電話 ②FAXのいずれかでお申し込み下さい。
 (詳細は裏面をご覧ください)

※今回は平成29年2月23日(木)の開催予定です。

がん治療と仕事の両立を助ける、がん患者さんとご家族を支援します。
 近畿大学医学部奈良病院 がんセンター・がん相談支援センター
 Kindai University Nara Hospital

がん患者さんとご家族さんのための
第3回就労相談会

がん治療と仕事の両立を助ける、がん患者さんとご家族を支援します。

治療を受けながら、仕事のことで悩んでいることはありませんか?
 ・病後もしながら今の仕事を続けられるだろうか...
 ・入職して仕事を休むと収入がなくなってしまう...
 ・退職を勧められてしまった
 ・病後のことは職場に伝えるべきだろうか...
 ・もらえる年金って、どうなるのかな...

がん相談支援センター
 社会保険労務士が相談に乗ります。

日 時 平成29年9月13日(火)
 13:00～16:00

場 所 がん相談支援センター
 募集人数:3名(相談時間50分)
 社会保険労務士:河田 秀夫 氏
 費用:無料
 予約方法:お電話でお申し込み下さい
 市立奈良病院 がん相談支援センター
 TEL 0742-24-1251
 ※ 就業先が対象は行っておられないのでご了承ください。

がん治療と仕事の両立を助ける、がん患者さんとご家族を支援します。
 仕事や経済的悩み、心配事ご相談下さい。
 社会保険労務士
 無料 **就労相談**

29年2月22日(水曜日)
 午後1時から4時まで
 予約制3名様まで

奈良県立医科大学附属病院
がん相談支援センター
 E楼1階 コーヒショップサテライト奥
 担当 社会保険労務士
 草野 有子 氏

窓口 がん相談支援センター・総合相談窓口
 電話 0744-22-3001(内線1173) 229-0000
 月～金 午前9時から午後6時まで
 予約は各拠点の窓口またはお電話にて

・病後や治療中の悩みや相談について
 ・仕事のことや収入のこと
 ・退職・退職後の年金や手当てのこと
 ・退職後の健康保険と生活費の負担軽減など
 ・年金 障害年金のことを知りたい

がん治療と仕事の両立を助ける、がん患者さんとご家族を支援します。

がん治療と仕事の両立を助ける、がん患者さんとご家族を支援します。

がん相談支援センター
 社会保険労務士が相談に乗ります。

日 時 平成29年3月15日(木)
 13:00～16:00 予約制
 (1人80分・定員2名)

場 所 近畿大学医学部奈良病院内 面談室

対 象 がんの患者さん、およびその家族

担当 社会保険労務士 尾木 真穂 氏
 ※がん相談支援センター相談員も同席します。

申込方法 ①電話 ②FAXのいずれかでお申し込み下さい。
 (詳細は裏面をご覧ください)

※今回は平成29年2月23日(木)の開催予定です。

がん治療と仕事の両立を助ける、がん患者さんとご家族を支援します。
 近畿大学医学部奈良病院 がんセンター・がん相談支援センター
 Kindai University Nara Hospital

チラシ
ポスター

治療と仕事の両立を助ける、がん患者さんとご家族を支援します。
 がん、肝炎、糖尿病などで、療養中で新しい方
 ハローワーク大和高田 出張就職支援
お仕事探し相談日

E楼1階 コーヒショップサテライトの奥
 がん相談支援センター・相談室2 予約制/無料

日 時	相談時間	相談人数	相談時間
4月4日(水)	13:30～16:30	14名	15名
4月11日(水)	13:30～16:30	11名	12名
4月18日(水)	13:30～16:30	14名	15名
4月25日(水)	13:30～16:30	11名	12名
5月2日 (水)	13:30～16:30	14名	15名
5月9日(水)	13:30～16:30	11名	12名
5月16日(水)	13:30～16:30	14名	15名
5月23日(水)	13:30～16:30	11名	12名
5月30日(水)	13:30～16:30	14名	15名
6月6日(水)	13:30～16:30	11名	12名
6月13日(水)	13:30～16:30	14名	15名
6月20日(水)	13:30～16:30	11名	12名
6月27日(水)	13:30～16:30	14名	15名

就業に悩まれている方が多い中、病後のことを伝えるべきか悩んでいる、ご心配ください。
 専門の就職ナビゲーターによる支援を実施します。
 状況、通院状況に配慮した求人(職種)探し
 仕事復帰の不安解消のための相談
 病後の作成や書類の受け方などのアドバイス
 職業訓練や就職支援セミナーなどの紹介

予約は各拠点の窓口またはお電話にて
 がん相談支援センター 内線1173
 229-0000

外来
液晶掲示板

■「社会保険労務士による就労相談支援」についてのアンケートまとめ

平成 29 年 6 月実施

1. 就労相談で上手くいった事例、困った事例、難しいと思ったこと

(相談員)

○上手くいった事例

- ・社会保険労務士の専門的な知識の提供により、傷病手当金、障害年金などの受給や、退職後の受給継続等が行えた。
- ・障害年金の申立てや傷病手当申請の日付等具体的な助言は満足度が高い。
- ・悩んでいた方が職場復帰し、離職を考える前に職場の相談につながった。
- ・患者の不安軽減につながった。

○困った事例、難しいと思ったこと

- ・仕事の継続の判断は難しい。本人が納得できるまで付き合うしかない。
- ・雇用形態を変更してからの相談があり、早期介入の必要性を感じた。
- ・相談支援の結果は把握していない。

(社会保険労務士)

○上手くいった事例

- ・傷病手当金、障害年金、高額療養費など制度を正しく説明することで、本人の安心につながった。
- ・役に立つと思う項目を一覧にして対応している。

○困った事例、難しいと思ったこと

- ・すでに離職された方が多い。
- ・制度の話は役に立つが、離職防止につながるアドバイスは難しい。
- ・病状の悪い方の相談。
- ・復職の相談より、退職の話が多い。
- ・相談者の思いをきけているのかと、無力感にさいなまれることがある。
- ・がんになると生活保護がすぐに受けられると勘違いする方がいる。
- ・社内制度（休業退職制度、短時間勤務制度、時差出勤、在宅勤務など）を患者が知らないため、話が進まない。

2. 病院と社会保険労務士の連携や実施体制で上手くいっている点、改善したい点

(相談員)

○上手くいっている点

- ・社会保険労務士が、要点をまとめた資料を用いて詳細に説明してくれるので理解がしやすい。

○改善したい点

- ・患者のニーズとタイミングが合わない。
- ・社会保険労務士の専門性により相談に対応できないことがある。
- ・相談員からすでに伝えた情報以上に、新しい情報がないことがあった。
- ・当日キャンセル時の有効活用の方法を検討したい。

（社会保険労務士）

○上手くいっている点

- ・相談員が同席し患者の体調を配慮してくれるからありがたい。
- ・相談員の同席で病状や状態がわかり、仕事の継続について把握しやすい。
- ・相談員からの事前連絡で、病状や就労の考えなど打ち合わせできるのがよい。

○改善したい点

- ・事前の「相談者情報」については本人記入の簡潔なものが多く、相談員のコメントもほしい。
- ・事前の相談者情報のない当日相談は難しい。
- ・相談員にも障害年金や健康保険についての知識があり、社会保険労務士の相談は価値があるのかと感ずることがある。
- ・患者サロンに社会保険労務士が参加し、個別相談につなげる。

3. この事業を継続するための課題や改善点

（相談員）

- ・相談希望者が少ない。
- ・相談者側の希望日に合わせて相談ができる体制も必要。
- ・継続するには、絶え間ない広報活動、周知が必要である。
- ・継続的な支援が必要な方への対応。
- ・「就労相談支援」の表示は相談者にわかりにくい。
- ・ハローワークの就職支援との違いを示す。
- ・相談員、社労士、ハローワークの役割を整理し、相談者に明示する。
- ・医療従事者に対しての就労相談の情報提供や研修が必要。

（社会保険労務士）

- ・相談会の知名度が低く、広報の工夫が必要。
- ・主治医からのがん相談支援センターの周知。
- ・退職や復職の相談はタイムリーさが求められる。病院が社会保険労務士と日程調整するなど随時相談にしてはどうか。
- ・社会保険労務士に患者の自立によりそうカウンセリングの視点が必要。

- ・相談者が多くなる時は、社会保険労務士の複数体制を考える。
- ・社会保険労務士、相談員、ハローワークとの連携。
- ・相談員と社会保険労務士の情報交換会の開催。

4. 今後のがん患者への就労施策において、必要と思われる取組 (相談員)

- ・がん診断時からの医療側、企業側のサポート
- ・がんの診断時から治療を受けながら安心して働ける職場づくり。
- ・事業主ががん患者への就労への理解を深めるため、行政側からの働きかけ。
- ・事業所と病院との連携。
- ・非正規雇用者へのサポート
- ・長期療養している患者に対応できるハローワークを増やす。

(社会保険労務士)

- ・地域がん診療連携支援病院での実施。
- ・企業側と主治医側の情報の共有化が重要。そのためのコーディネータ役の設置（MSW、看護師、社会保険労務士等）。
- ・広報、周知。
- ・ハローワークのように、労働局や協会けんぽ、年金機構と協同することで、手続きの簡素化ができないか。

5. 情報交換会で聞きたいテーマや講師等 (相談員)

- ・産業保健総合支援センターの役割について。
- ・ハローワークナビゲーターと社会保険労務士の協働で良い事例があれば聞きたい
- ・産業保健分野と病院との連携での先行事例
- ・県外の就労相談について
- ・日頃の社会保険労務士の相談への影響、継続相談した事例はあるのか、就労相談を利用した相談者の声などをきいてみたい。

(社会保険労務士)

- ・「高橋都」先生に、数年間の全国的な傾向、今後の課題などを聞きたい。
- ・他府県の相談会の頻度、1人の相談時間、広報の工夫など聞きたい。
- ・石川県のサロン内での就労相談について聞きたい。
- ・事業所側の取組で上手くいっている具体的な事例を聞きたい。

慢性疾病を抱える児童等の実態調査から抜粋
～小児がんを抱える児童等の実態調査(概要)～

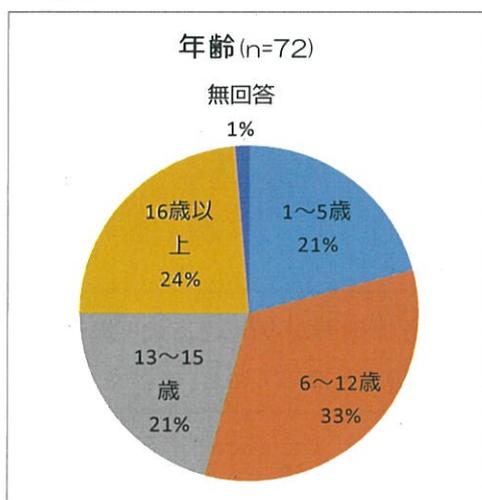
慢性疾病を抱える児童等の実態調査より「悪性新生物」の患者72件の生活実態や支援ニーズ等について下記の通りまとめました。

慢性疾病を抱える児童等の実態調査の概要	
目 的	奈良県内の小児慢性特定疾病児童等とその家族の生活実態及び支援に対するニーズを明確にし、自立支援に資する。
実施時期	平成29年3月13日～平成29年5月31日
対象者	平成29年1月1日現在、奈良県内に居住する小児慢性特定疾病医療費支給認定を受けている児童等の保護者 1,410 通
調査方法	自記式アンケート(郵送法)
回答状況	有効回答数 734 件(有効回答率 52.0%)

◆小児がん患者(疾患群「悪性新生物」)の調査結果の概要について

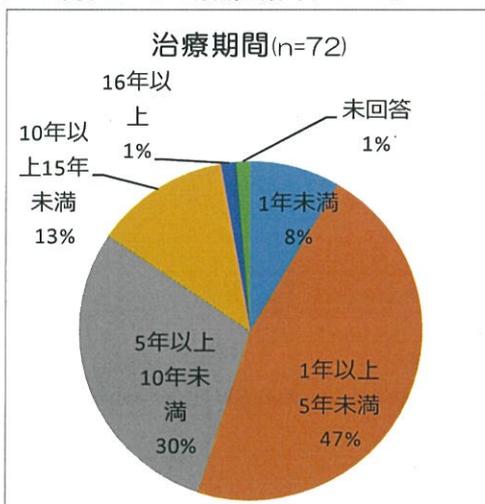
1. 対象者の状況

(1)年齢と性別 (n=72)



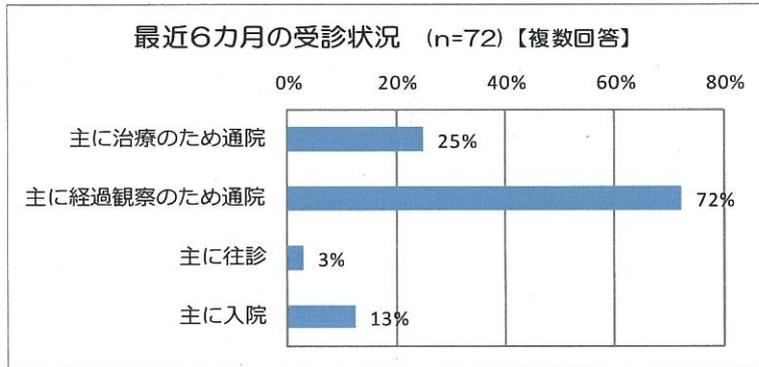
(2)主たる疾患の治療状況

①発症から現在までの治療期間(n=72)



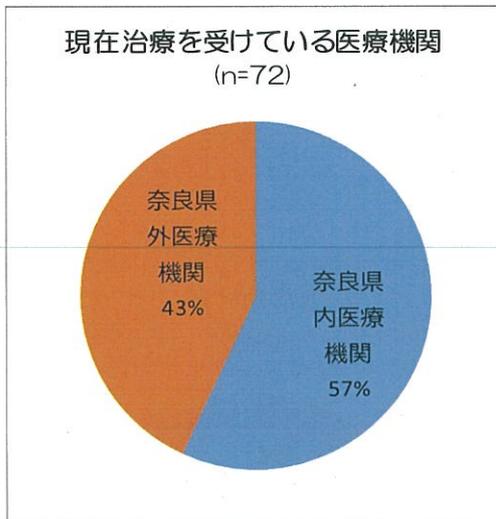
・小学校・中学校の義務教育の年齢が、54%を占めている。
 ・治療期間では、1年以上5年未満が最も多く47%を占めている。

②最近 6 ヶ月の受診状況 (n=72)【複数回答】

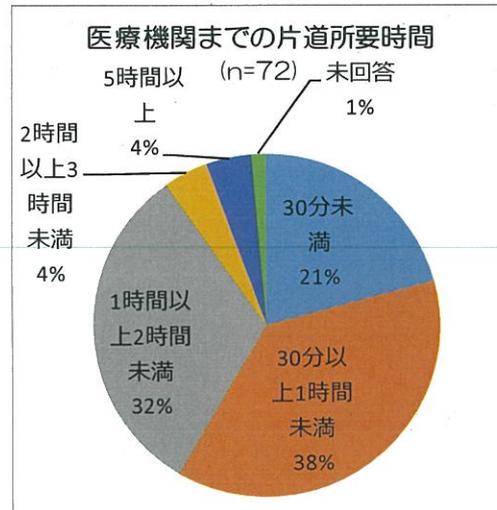


・最近 6 カ月の受診状況では、経過観察のための通院が最も多く 72%を占めている。

(3) 現在治療を受けている主な医療機関 (n=72)



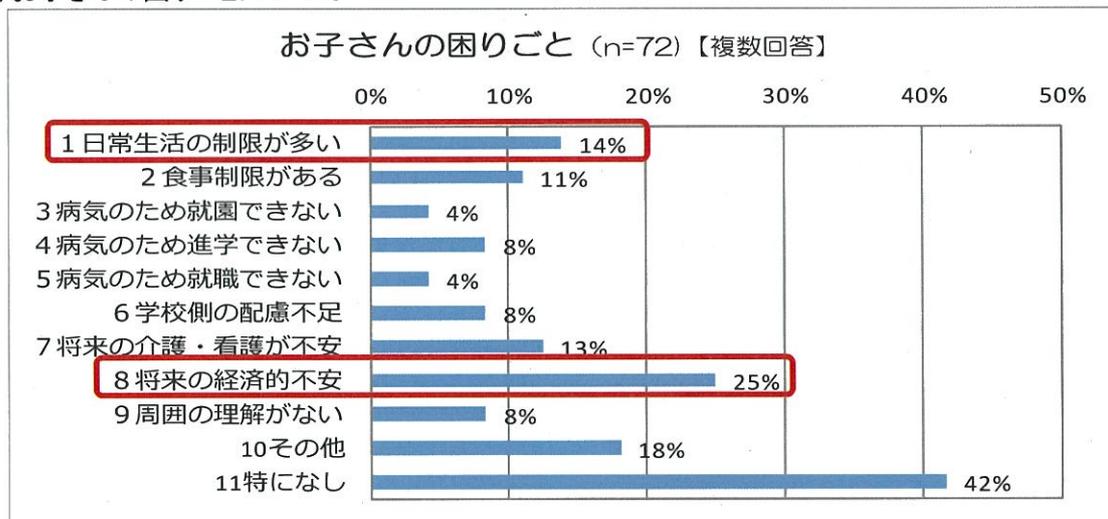
(4) 医療機関までの片道の所要時間 (n=72)



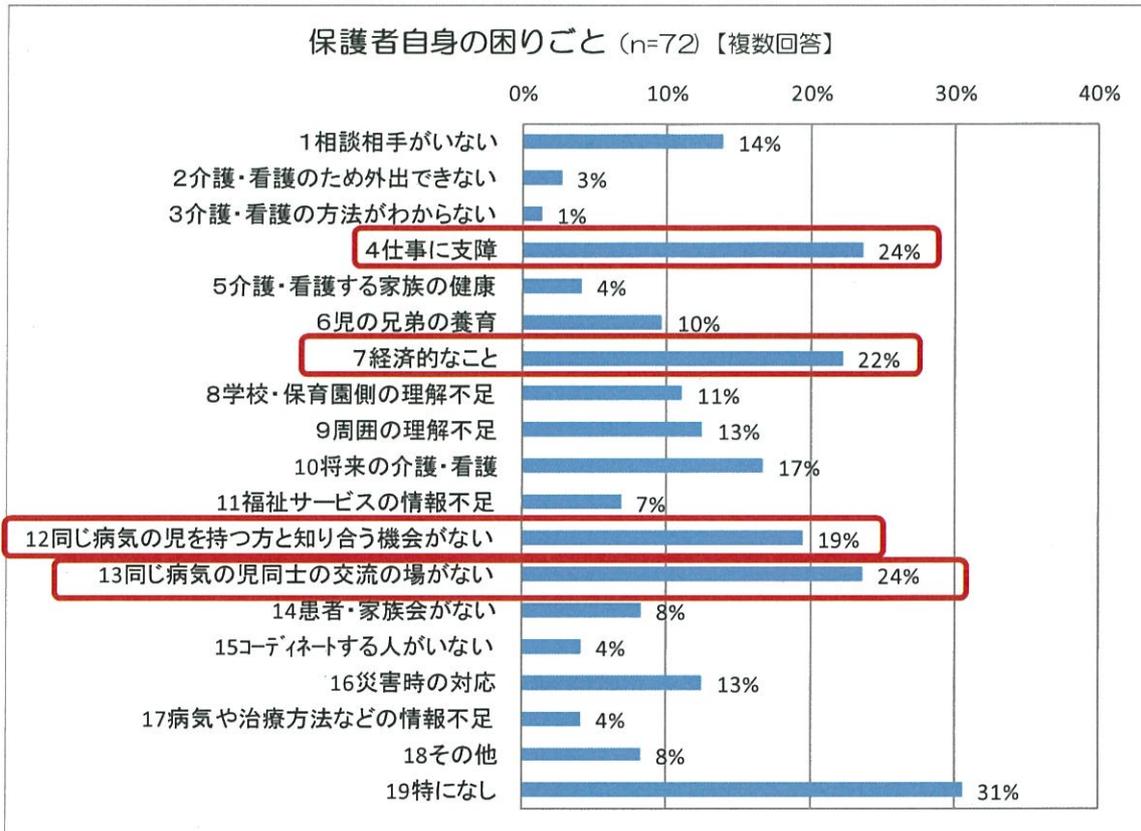
・現在治療を受けている主な医療機関では、県内医療機関が 57%を占めている。
 ・医療機関までの所要時間では、1 時間未満が約 60%を占めている。

2. 日常生活の困りごとについて

(1) お子さんの困りごとについて



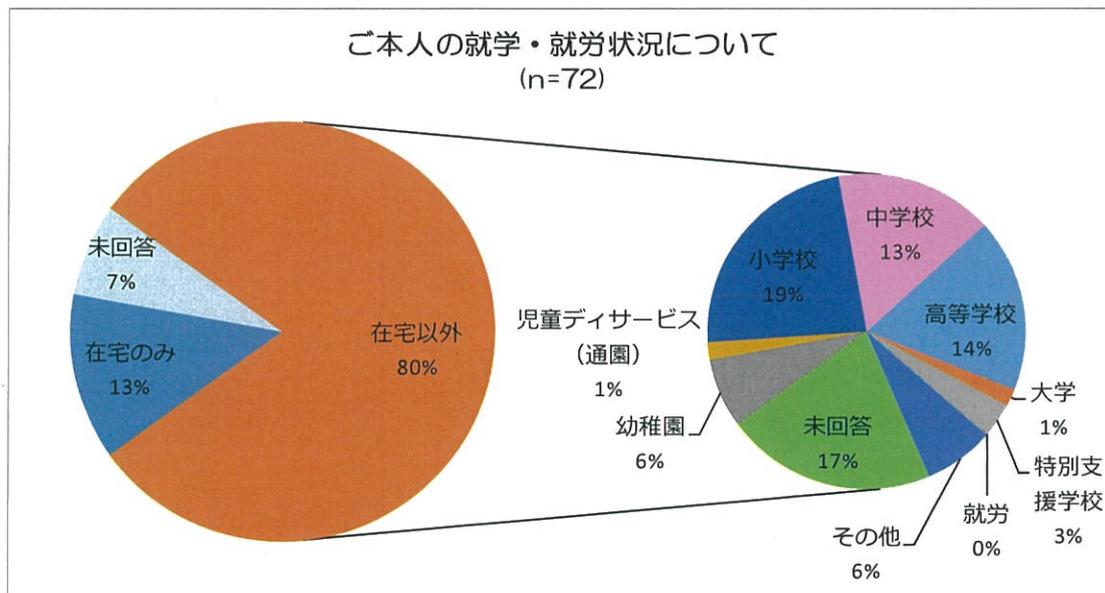
(2) 保護者自身の困りごとについて



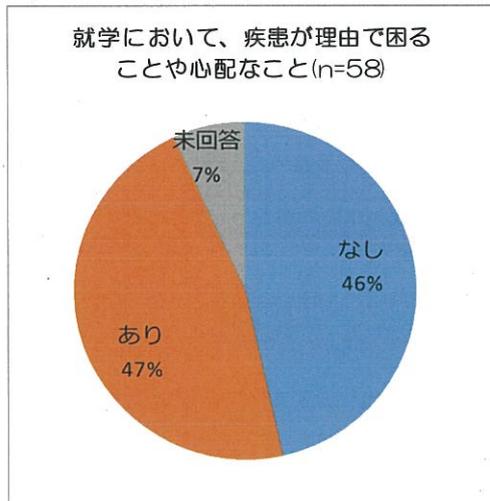
・保護者自身の困りごととして、経済的なことや仕事に関するものが多かった。
 ・また、同じ病気の児同士や保護者同士の交流の場がないとの回答も多かった。

3. ご本人の就学・就労状況について

(1) 日中の主な過ごし方について



(2)(1)「在宅以外」と回答された方で、就学において疾患が理由で困ることや心配なことについて



➤ 「あり」の自由記載

<保育園、幼稚園、児童デイサービス>

- ・後遺症として顔面麻痺が残っており、それが原因でいじめられないか、本人の性格に影響がないか心配。
- ・1年間入院中、母である私が、24時間つきそっていたので幼稚園に復園してからも離れることを不安がる。
- ・抗がん剤を毎日服用しているため体調にムラがあり登園できない日がある。骨がもろくなっているので激しい運動もできない。
- ・義眼の為そのつどケアが必要

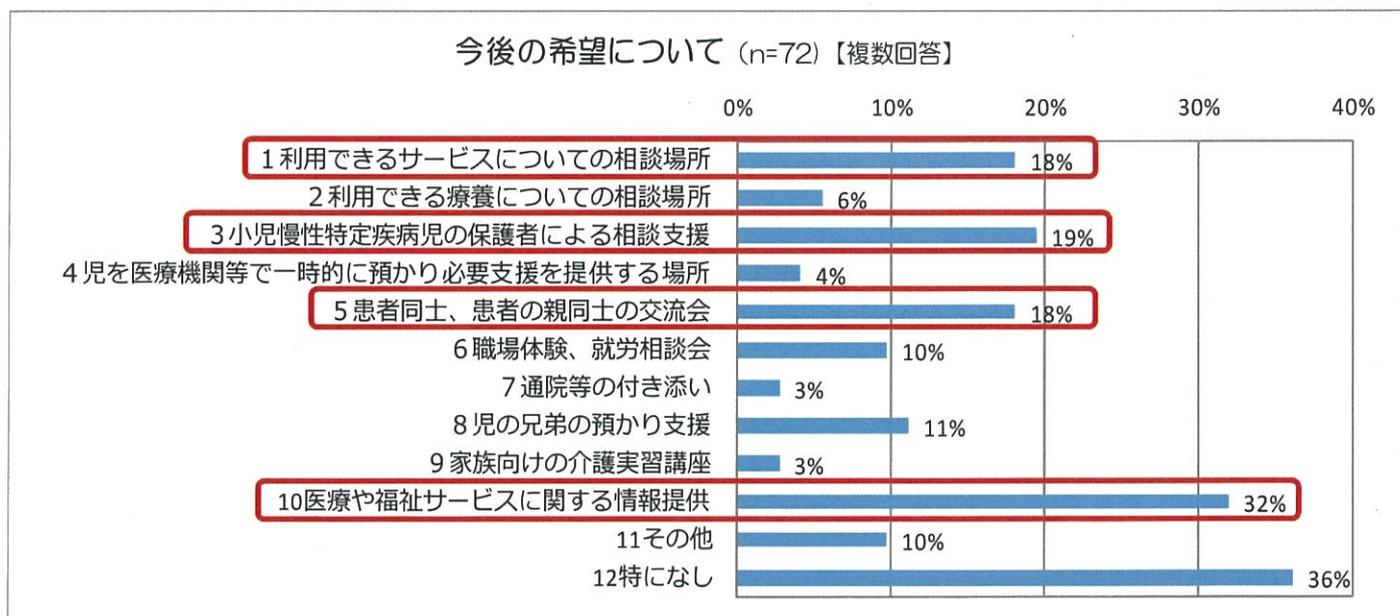
<小学校>

- ・小学校で再発して手術になるなど、長期休みになると困る。
- ・いつ再発するか心配
- ・授業は集中力がつかず、参加できない。
- ・低学年の時の配慮がほしい。
- ・支援学級に入らないといけない事。
- ・治療の後遺症について学校でからかわれる。
- ・脱毛のこと。
- ・漠然とした不安がある。
- ・学校の病気への理解不足で、学校生活に不安がある。
- ・本人に合わせた教育を受けられるかどうか。
- ・登下校、学習のつきそい
- ・脳を手術しているため、短期記憶と長期集中力に弱い。
- ・尿の回数が多く、学習に集中できない。

<高等学校・大学・その他>

- ・障害(半盲・半身まひ)が原因で転倒したり思わぬ打ぼく等の負傷をすることがあった。
- ・長期入院治療で院内学級に在籍したが、退院後も勉強について行けず不登校気味になった。
- ・院内学級があるも、学習の遅れが心配。
- ・薬の後影響でしんどくなり学校を休みがちになる。
- ・本人がやりたいと思っても体力的に無理がありストレスになる。
- ・支援の理解不足。体の成長が遅いなど、本人に言われた。
- ・長期間入院した子どもや親に対する理解がない。
- ・この先、仕事ができるか
- ・授業中体調が悪くなることもあるが、我慢していることが多い。高校なのでそれほど気にかけてもらうことは出来ない。
- ・見かけが普通に見えるので、無理であることに気づかれにくく、あとでぐったりしている。
- ・大学に進みたいが、体力がついていか、勉強についていけるか不安である。
- ・学習意欲があり、大学へ進学したいが、長期入院のため留年を余儀なくされ退学した。
- ・再発しないか心配。
- ・先生たちの偏見がないか不安
- ・高校生への学習や進学への支援(アドバイスのことを含む)
- ・高校生以上は義務教育ではなく、学習、進路等アドバイスが受けにくい。心理面からも相談が出来る方がいいと思います。

4. 今後の希望について



- ・医療や福祉サービスに関する情報提供を希望する方が最も多く32%を占めている。
- ・次いで、利用できるサービスについての相談や保護者による相談支援、患者同士、親同士の交流の機会を望む声が多い。

➤ 今後の希望等の自由記載

相談体制等について

- ・病気は治療を受けた病院で診てもらえるが、後遺症、費用などの不安や心配事の相談場所を案内してくれるところがあればいいと思う。
- ・同じ立場の人が近くにおらず、孤立している。
- ・予防接種の相談などできればと思う。

医療体制について

- ・小児がんの治療ができる病院を県内に増やしてほしい。
- ・発症時は県内で入院したが、治療方針、環境、設備など不満があり、県外で診てもらっている。
- ・入院後のケア

経済的支援について

- ・給付制度のおかげで治療費の心配がなく、ありがたい。
- ・交通費・親の生活費の援助がない。親の仕事に制限がある。
- ・受け直しの予防接種を自己負担ではなく助成して欲しい。
- ・入院、通院の出費が苦しい。

教育支援について

- ・定期的に入院する必要があるが、「院内学級中学部」の存続が厳しいと聞いた。継続を望む。
- ・教師の病気・治療内容の理解が不足している。体調の変化への対応が心配。
- ・進学を希望しているが、長期欠席の間の授業、学校生活のフォローがほしい。
- ・小児がんの理解を幼稚園、小中学校等の現場でも行ってもらえる様な学習会などを開いてほしい。

就労支援について

- ・病気の人でも自立でき、働き続けられる職場を作してほしい。
- ・就労時に病気のことを伝えるかどうか。それが理由で採用されないことがあるか心配。
- ・将来的にも通院(経過観察)が必要になってくるが、進学、就職で他府県に転出した場合、情報の連携がスムーズに行くのか等様々な不安がある。